

令和3年度 第2回南幌町地域包括ケア推進会議
第2回南幌町高齢者虐待防止ネットワーク会議
第2回南幌町認知症初期集中支援チーム検討委員会

日 時 令和3年12月2日(木)
16時00分より
場 所 あいくる1階 あいくるホール

1 開 会

2 町長挨拶

3 協議(報告)事項

(1) 会長・副会長の選出 会 長 _____

仮議長：町長 副会長 _____

(2) 地域包括支援センター業務（令和3年度事業中間報告）について

(3) 地域包括ケア個別会議における活動状況について

(4) 高齢者虐待防止ネットワーク会議活動状況について

(5) 認知症初期集中支援チーム検討委員会活動状況について

(6) 生活支援コーディネーターにおける活動状況について

4 そ の 他

5 閉 会

地域支援事業（4月～10月）

【目的】

地域支援事業は、介護保険法に基づき、被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的とする。

1. 一般介護予防事業

■介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）

制度改正に伴い、平成29年度に介護予防・日常生活支援総合事業の開始と併せて、引き続き一般介護予防事業として実施した。

高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりと、要支援・要介護状態になっても、生きがい・役割をもって生活できる地域づくりを推進する。

事業名	【介護予防普及啓発事業】快足シャキッと倶楽部							
目的	外出の機会を多く持ち、寝たきりの原因となる転倒骨折を予防し、自ら生きがいをみつけ、自立した生活を維持する。							
対象	65歳以上の方							
令和3年度 計画								
日程	あいくる（火曜日・金曜日） 月に5～7回 ふれあい館（木曜日） 月に3～4回							
場所	あいくる、夕張太ふれあい館							
スタッフ	健康運動指導員、保健福祉課職員							
内容	体操（基礎、筋力アップ）、健康・栄養講話							
令和3年度 中間実績								
実績 ■あいくる	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	中間計
	6回	2回	0回	6回	5回	0回	8回	27回
	117人	30人	0人	102人	70人	0人	271人	590人
1回平均： 21.8人／新規4人								
■夕張太	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	中間計
	3回	1回	0回	4回	3回	0回	4回	15回
	39人	12人	0人	43人	28人	0人	48人	170人
1回平均： 11.3人／新規なし								

事業名	【介護予防普及啓発事業】男の料理教室							
目的	男性が買い物、料理などの手動的日常生活動作の自立を目指し、さらに運動、趣味の発見の機会とすることをねらいとする。							
対象	概ね65歳以上の男性							
令和3年度 計画								
日程	月1回							
内容	バランスのよい献立、調理の方法、健康講話							
スタッフ	管理栄養士、保健師、保健福祉課職員、ボランティア（各回3～6人）							
令和3年度 中間実績								
実績	1回（9人） ■新型コロナウイルス感染症に伴い、調理実習は実施せず健康講話を行った。							

事業名	【介護予防普及啓発事業】高齢者水中運動教室		
目的	高齢者に対して水中運動を行うことにより、介護の重度化を予防し、自立と生きがいのある生活を助長する。		
対象	65歳以上の方		
令和3年度 計画			
日程	○水曜日コース	5月～9月(全16回)	
	○金曜日コース	5月～9月(全15回)	
場所	南幌町町民プール		
内容	ストレッチ、水中運動		
令和3年度 中間実績			
実績	■水曜日コース ○7月7日～8月25日(全6回) / 登録人数6名(延べ参加人数 20名) ■金曜日コース ○7月2日～8月20日(全4回) / 登録人数7名(延べ参加人数 16名) ★合計 全10回 / 登録実人数9名(延べ参加者36名)		

事業名	【介護予防普及啓発事業】高齢者いきいき健康マージャン		
目的	健康マージャンを通じて、高齢者の仲間づくり、生きがいづくりを図りいきいきと暮らせる高齢者の健康づくりを目的とする。		
対象	60歳以上の方等		
令和3年度 計画			
日程	4月1日～3月31日の週1回開催(※隔週火曜日、木曜日の交替開催) 13時～15時まで		
場所	あいくるホール		
内容	「賭けない、吸わない、飲まない」健康マージャン ※社会福祉協議会へ事業委託		
スタッフ	地域のボランティア(講師)		
令和3年度 中間実績			
実績	13回実施(延べ参加人数 236人 / ※1回平均 18.1人=平均5卓) ※参加登録者人数 111人(男48人/女63人)、講師5人		

事業名	【介護予防普及啓発事業】高齢者いきいきリアル野球盤						
目的	高齢者の生きがいと閉じこもり防止を図るための事業化に向けて、高齢者で簡単に楽しめるゲームを行い、老人クラブの活動推進をねらいとする。						
対象	単位老人クラブ						
令和3年度 計画							
内容	社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携し、北海道日本ハムファイターズベースボールアカデミーグループが行っている、「リアル野球盤」の貸し出しを行う。単位老人クラブなどに貸し出しを行い、地域活動の場において利用促進を図る。						
スタッフ	保健福祉課職員						
場所	単位老人クラブの集会場など						
令和3年度 中間実績							
実績	0回						

事業名	【健康教育・健康相談】							
目的	介護予防、疾病予防に関する正しい知識を普及する。							
対象	単位老人クラブなど							
令和3年度 計画								
内容	介護予防・健康づくりに関する講話 感染症の動向を踏まえ、臨機応変に健康教育を実施する。							
日程	随時							
場所	各地域の会館等							
令和3年度 中間実績								
実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	中間計
	2回	1回	1回	1回	0回	0回	1回	6回
	37人	31人	32人	34人	0人	0人	29人	163人
<p>(内訳) 老人クラブ：5回 134人、老人クラブ連合会空知地区ブロック研修会：1回 29人</p> <p>■講話内容 コロナウイルス感染症予防/熱中症対策について/認知症及び骨折予防について 家庭血圧について/フレイル予防/社会参加の推進 ※血圧測定なし</p>								

事業名	【地域介護予防活動支援事業】地域づくりサロン運営費（なんぼろカフェサロン）補助金		
目的	地域の自主グループが開催運営する高齢者が気軽に集まることのできる地域づくりサロンの活動に要する経費に対して補助することで、高齢者の生きがいづくりと介護予防を図るとともに、社会的孤立感の解消や地域での支え合い体制を推進する。		
対象	65歳以上の方		
令和3年度 計画			
交付対象	目的の活動を実施しようとするグループ		
場所	地域の会館、公共施設等		
内容	令和2年度より社会福祉協議会へ事業を委託。生活支援コーディネーターと連携をとり、気軽に参加できる集いの場として町民への周知を図っていく。		
その他	■意見交流会の開催：高齢者の見守り等説明、サロン同士の意見交流会		
令和3年度 中間実績			
内容	補助金の交付 ①事業立ち上げ費（初回のみ） 10万円以内 新規立ち上げ 実績なし ②運営費 開催1回につき 1,000円		
その他	意見交流会 未実施（令和4年3月実施予定） 9月までの開催回数↓		
サロン名	①ゆい（シルバー）	平成27年 6月立上げ	開催回数 4回
	②桜（夕張太）	平成27年10月立上げ	開催回数 5回
	③ひまわり（北町）	平成28年 7月立上げ	開催回数 6回
	④寿（15区）	平成29年 3月立上げ	開催回数 7回
	⑤西町	平成29年 3月立上げ	開催回数 8回
	⑦鶴城（冬季のみ）	平成30年12月立上げ	開催回数 1回
	⑧スマイル（14区）	令和 2年 7月立上げ	開催回数 6回
事業名	【介護予防普及啓発事業】ふまねっと運動		
目的	歩行機能の改善やバランス機能の向上、さらに認知機能の低下を防ぐことを目的に、高齢者の集いの場を利用して実施をすることにより転倒予防に繋げる。		
対象	65歳以上の方		
令和3年度 計画			
内容	令和2年度より老人会やカフェサロンの集まりの場において実施している。約50cm四方のマス目でできた大きな「あみ」を床に敷き、その「あみ」を踏まないように、ゆっくり慎重に歩く運動で、間違いに気づくことによりバランスと認知機能の改善効果が得られます。集まりの場で行うと、コミュニケーションが生まれ、お互いのつながりが深まります。		
スタッフ	生活支援コーディネーター及びふまねっとサポーター		
場所	老人会やカフェサロン		
令和3年度 中間実績			
実績	1回	延べ参加者数	16名

事業名	【地域介護予防活動支援事業】介護支援ボランティアポイント事業
目的	ボランティア活動を通じて、社会参加や社会貢献を促進し、住民自身の健康増進及び介護予防を推進する。
対象	40歳以上の要介護・要支援認定を受けていない方
令和3年度 計画	
内容	事業登録者へポイント手帳を交付。(※社会福祉協議会へ事業委託) 町・社会福祉協議会・介護保険施設でのボランティア活動に対し、ポイントを付与、貯まったポイントは翌年4月に商工会の商品券に還元することができる。 今年度はボランティア養成講座の開催。 ボランティア活動意向調査、住民向けボランティアニーズ調査を実施予定。
その他	■ボランティア入門講座の開催、入門講座開催御におけるボランティア活動意向調査、住民向けボランティアニーズ調査の実施
令和3年度 中間実績	
登録者数	109名(令和3年10月末)
商品券引換	令和3年4月交換(令和2年度実施におけるボランティアポイントの商品券引換分) 65歳以上 37名 42,000円分(昨年度 69名 215,000円) 64歳以下 1名 1,000円分(昨年度 3名 6,000円) 計 43,000円分
その他	交流会 未実施

事業名	地域リハビリテーション活動支援事業(令和3年度新規事業)
目的	地域での介護予防・自立支援を促進するため、身近な場所での介護予防の取り組みを支援する。
対象	単位老人クラブ・カフェサロン等地域で活動する団体
令和3年度 計画	
内容	地域での元気高齢者の集まりにリハビリ専門職員等を派遣し、介護予防に資する知識の普及や技術への助言、レクリエーションなどを行い、地域での介護予防の取り組みを支援する。 令和3年度からの新規事業につき、事業周知に注力し事業の促進を図る。
スタッフ	町内医療機関・介護事業所のリハビリテーション専門職等、保健師
令和3年度 中間実績	
実績	2回 8区歳鶴会 7月20日 町立南幌病院 理学療法士 社協主催のボランティア養成講座 10月13日 町立南幌病院 理学療法士
参考	11月と12月で3回実施予定

2. 介護予防・生活支援サービス事業

■介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）

平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、従来の訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）を介護予防・生活支援サービス事業として実施した。

地域の実情に応じて、住民等多様な主体が参画し、多様なサービスを充実させることにより、地域の支え合い体制づくりを推進していく。

事業名	介護予防・生活支援サービス事業	
目的	地域の実情に応じて、住民等多様な主体が参画し、多様なサービスを充実させることにより、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援を行う。	
対象	要支援認定の方・チェックリスト実施対象の方	
令和3年度 計画		
内容	介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者事業団へ委託する住民主体の訪問型サービスの実施・支援 ・新たな多様なサービス実施への検討 	
令和3年度 中間実績		
内容	①介護予防・日常生活支援総合事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ■サービス事業者の指定 <ul style="list-style-type: none"> <訪問型サービス> <ul style="list-style-type: none"> 事業所数 5事業所 <通所型サービス> <ul style="list-style-type: none"> 事業所数 3事業所 ■サービスの実施 <ul style="list-style-type: none"> <訪問型サービス（住民主体のサービス）> <ul style="list-style-type: none"> ○南幌町高齢者事業団 <ul style="list-style-type: none"> 【サービスの内容】～清掃（室内・トイレ・浴室）、洗濯、ゴミ処理 利用者 2名（要支援2、要支援1の方 各1名） 	

3. 包括的支援事業

地域のケアマネジメントを総合的に行うために、介護予防ケアマネジメント、総合相談や支援、権利擁護事業、ケアマネジメント支援を実施する。

<包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）>

事業名	家庭訪問
対象	65歳以上の方
令和3年度 計画	
内容	訪問により、要介護認定を受け必要なサービス利用に至っていない方の支援や支援困難事例など介護支援専門員の後方支援としての訪問活動を行う。令和2年度から実施している、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する取り組みを継続する。KDBデータを利用し、生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導、健康状態が不明な高齢者の実態把握、必要なサービスへの接続等の支援を行う。
令和3年度 中間実績	
実績	258件（新162件、再96件）

事業名	総合相談窓口
対象	65歳以上の方やその家族等
令和3年度 計画	
内容	サービスに関する情報提供等の初期相談対応や、継続的・専門的な相談支援（様々なサービス等の利用へのつなぎ）を実施する。また、民生委員児童委員、人権擁護員、老人クラブ会長を在宅高齢者相談協力員として委嘱し、地域で広く高齢者の相談に応じる体制を整備し、連携を図る。
令和3年度 中間実績	
実績	電話：273件／来所：216件／その他：4件

事業名	高齢者虐待防止ネットワーク事業
根拠・通知	介護保険法、高齢者虐待防止法
目的	高齢者虐待の予防・早期発見・早期対応・再発防止を図り、高齢者の平穏な生活を確保する。
令和3年度 計画	
内容	関係機関との連携を密にすることで今後も迅速な対応に努める。
令和3年度 中間実績	
実績	高齢者虐待取扱い件数 0件 ※経年に関わっており権利擁護につなげている最中のケースがひとつある 町内関係者及び町民へ的高齢者虐待防止周知・普及

事業名	地域包括ケア推進会議
目的	住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、介護・医療・住まい・生活支援・介護予防が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を推進するために開催する。
令和3年度 計画	
内容	<p>高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた保険者の取組が制度化され評価指標が示されており、本会議によって、地域包括支援センター業務や体制等の課題の明確化および改善に向けての検討を図り、機能強化に努めていく。</p> <p>①地域支援事業や高齢者福祉事業の推進及び支援 ②地域包括支援センターの運営・評価 ③高齢者虐待に関する実施評価について ④地域密着型サービス事業の運営、効果的な支援の評価及び指定について</p>
令和3年度 中間実績	
日程	9月2日（木）書面報告（新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言のため）
場所	

事業名	地域ケア個別会議
対象	様々な課題を抱えた高齢者
令和3年度 計画	
内容	<p>さまざまな課題を抱えて生活する支援困難事例が増えており、会議を通じた地域の資源の利活用や他職種の協働により、自立した日常生活を営めるよう支援を行う。本会議の機能を発揮することおよび町全体の介護予防ケマネジメントの質の向上を目指して自立支援型地域ケア会議を実施していく。</p>
令和3年度 中間実績	
①地域ケア個別会議の実施	
内容	支援困難高齢者に対して課題を解決するため、地域や多職種の協働により個別の支援内容の検討を行う。
会議ケース	0件
参考	11月に1件実施予定
②自立支援型地域ケア個別会議の実施	
内容	高齢者の自立支援と重度化防止に向けて、従来からの医療と介護の連携素地を有効活用し、多職種での検討によるケアマネジメントの支援を行う。
会議ケース	1件 令和3年10月21日実施
出席者	23人 町内介護・医療関係者 町保健福祉課職員
検討内容	介護保険や福祉サービスを利用し見守りを受け独居生活を送る高齢者の不安について、多職種で自立支援に向けて検討を行った。

事業名	在宅医療・介護連携推進事業
目的	高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進する。
令和3年度 計画	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ①連携会議の定例実施 保健福祉医療サービス調整推進会議・保健福祉医療連絡会議 ②地域での連携を推進するために、学習テーマを設けて研修会を開催する。 ③医療・介護連携を円滑に進めるためのツールやICT化の検討
令和3年度 中間実績	
実績	<ul style="list-style-type: none"> ①連携会議の定例実施 保健福祉医療サービス調整推進会議 4回実施 うち1回は在宅医療介護連携研修会として実施 うち1回は自立支援型地域ケア個別会議として実施 保健福祉医療連絡会議 感染拡大予防のため中止

事業名	生活支援体制整備事業
目的	生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図る。
令和3年度 計画	
内容	令和2年度より社会福祉協議会へ事業を委託しており、引続き連携を図り住民の活動の場に赴き、住民とともに地域づくりを念頭に置いた活動の推進を図っていく。
令和3年度 中間実績	
実績	コロナウイルス感染症に伴い、訪問活動の自粛を余儀なくされていた時期もあったが、生活支援コーディネーターが地域へ赴き、地域での活動や課題の把握に努め、地域づくりの担い手として持続的に活動を行っている。

事業名	【認知症総合支援事業①】認知症初期集中支援推進事業
目的	認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、効果的な支援が行われる体制を構築する。
令和3年度 計画	
内容	<p>①認知症初期集中支援チームでの支援</p> <p>②複数の専門職で、認知症が疑われる人、認知症の人とその家族に対し、初期の支援を包括的・集中的に行い支援する。</p> <p>③チーム員会議 月1回開催予定</p> <p>④認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催 年2回</p>
令和3年度 中間実績	
実績	<ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チーム 対象者：7件（前年度からの継続3件） 認知症が疑われ、介護・医療サービスを受けていない、または中断している方。 サービスを受けているが症状が顕著で対応に苦慮している方。 認知症サポート医：ポロナイクリニック 高塚直裕精神科医師 チーム員：保健師2名、介護福祉士1名 チーム員会議：5回開催 認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催 1回 ※地域包括ケア推進会議と同時開催

事業名	【認知症総合支援事業②】認知症地域支援・ケア向上事業
目的	認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、効果的な支援が行われる体制を構築する。
令和3年度 計画	
内容	<p>地域の実態に応じた認知症施策の推進にむけ研修等参加し学びを深める。</p> <p>また、医療機関や介護サービス等地域の支援機関との連携を図り、認知症の方やその家族を支援していく。</p> <p>チームオレンジの立ち上げに向け、地域のニーズ・マンパワー等課題や目的を整理し、関係者や住民と検討し、計画化していく。</p>
令和3年度 中間実績	
実績	<p>認知症地域支援推進員の配置</p> <p>3名配置：社会福祉士、保健師、介護福祉士（新任）</p> <p>医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の連携を図るための支援や、認知症の方やその家族を支援する相談業務を行った。</p>

4. 任意事業

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、地域の実情に応じた必要な支援を行うことを目的とする。

事業名	介護給付費等費用適正化事業	
目的	利用者に適切なサービス提供とケアプラン作成の向上を図り介護給付費の適正化につなげる。	
	令和3年度	計画
内容	町の介護給付の動向を把握した上で、居宅介護支援事業所の介護支援専門員とケア計画やサービス提供状況など情報交換や計画とサービス内容の検討を行う。 また、医療給付情報突合リストの確認も引き続き行う。	
	令和3年度	中間実績
実績	令和4年2月頃実施予定	
参考	令和3年1月28日実施 南幌みどり苑居宅介護支援事業所に対して実施 新型コロナウイルス感染症の対策として、対面実施から書面実施へ変更し実施	

事業名	【家族介護支援事業】介護者のつどい	
目的	介護者が高齢者に関する正しい知識を得ることができ、介護者同士が交流することにより心身のリフレッシュを図る。	
対象	要介護者を介護する家族等	
	令和3年度	計画
内容	年6回行う。適切な介護知識の習得、サービス利用に向けての情報提供、介護者同士の情報交換や交流を行う。11月には交流を深めることができる内容を実施する。 新規認定結果にお知らせ文章を同封し新規参加者の勧奨を行う。	
	令和3年度	中間実績
実績	2回 延べ参加者数3名 実人数3名	

事業名	【家族介護支援事業】認知症高齢者見守り事業
目的	認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進を図る。
令和3年度 計画	
内容	<p>認知症に関する正しい知識の普及・啓発、地域全体で見守りをすすめる認知症サポーターの養成等を行っていく。</p> <p><認知症サポーター養成講座> 認知症の正しい理解のためサポーター養成講座の実施</p> <p><認知症高齢者等SOSネットワーク事業> 所在不明となった認知症高齢者を関係機関の連携で速やかな発見・保護とその後の予防、登録を行い、見守りを整備する。</p> <p><安全安心見守りネットワーク事業> 高齢者や障害者、子供の見守りを必要とする方を町と民間事業所等が連携し、異変を早期派遣し必要な援助をし、住み慣れた地域で安全安心に生活できるようにする。</p> <p><認知症高齢者等見守り機器貸与支援事業> 徘徊行動のみられる（または恐れのある）認知症高齢者等やご家族にGPS端末機※を貸与し、安心な生活を支援する。（SOSネットワークへの登録必須） ※パソコンや携帯電話から位置情報を確認できる。</p>
令和3年度 中間実績	
実績	<p>■認知症サポーター養成講座 10月13日実施 ※ボランティア入門講座 12名</p> <p>■安全安心見守りネットワーク登録事業者 13社</p> <p>■認知症高齢者等見守り機器貸与支援事業 GPS貸出し件数6件 ※新規1件</p>

事業名	【地域自立生活支援事業】配食サービス
目的	高齢者の地域における自立した生活を継続できるよう推進するための事業を実施する。
対象	低栄養や認知症、退院時の虚弱等の理由により食事の支度が困難な65歳以上の独居・高齢者夫婦世帯。
令和3年度 計画	
内容	管理栄養士のアセスメントにより配食サービスを実施する。 また、自立を促進するために管理栄養士による訪問を実施する。 申請受理時、定期的に管理栄養士による食のアセスメントを行っていく。
令和3年度 中間実績	
実績	延べ利用者数：189人 ※10月利用の実人数28人 食数：延べ 3,788食

事業名	【地域自立支援支援事業】シルバーハウジング生活援助員配置事業
対象	道営シルバーハウジングに居住している高齢者
令和3年度 計画	
内容	生活援助員を派遣して生活指導・相談・安全確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供し、入居者が自立し、安全かつ快適な生活を営むことができるよう在宅生活を支援する。また、集会場で実施する介護予防事業にも参加協力し、入居者が事業に参加しやすい環境づくりを進める。引き続き生活援助員の派遣を継続していく。
令和3年度 中間実績	
実績	入居者17世帯の在宅生活を支援した。 ■生活相談：延べ126件（健康相談、介護サービス相談、日常生活相談、その他） ■生活援助：延べ197件（身の世話、ゴミ回収、服薬確認、体調不良対応、その他）

高齢者福祉事業

<高齢者在宅支援事業>

事業名	あんしんキット見守り事業
根拠・通知	事業実施要領（町単独）
目的	かかりつけ医や服薬の内容、緊急連絡先を記入し容器に入れ冷蔵庫に保管することにより、緊急時、本人が話せない状態であっても救急隊員、医療従事者等に必要な情報伝達と迅速な対応を図り、人命の安全を確保する。
対象	65歳以上の単身世帯、高齢者夫婦世帯、その他世帯（高齢者のみの世帯等） ※4月1日現在で、新たに65歳になった方を訪問 ※転入された世帯やこれまでの未設置世帯（70歳・75歳到達者）
令和3年度 計画	
内容	新規対象者に訪問により「あんしんキット」を配布する。 既設置者に訪問・電話等により情報用紙内容確認・修正の周知をする。
令和3年度 中間実績	
実績	配布者数53人／用紙回収29人／更新99人 全体配布数1,097人（うち75歳以上681人）

事業名	福祉用具相談・福祉用具レンタル事業
根拠・通知	なし（町単独）
対象	介護保険適用外の高齢者、又は要介護認定者で、一時的な退院等で福祉用具を必要とする者など
令和3年度 計画	
内容	退院に向けての在宅生活への移行のための外泊期間中に自立を支援するための福祉用具一時的な貸し出しを実施する。 介護給付が始まる前の方や介護保険サービスで対応できない方へ必要時貸し出しを行う。
令和3年度 中間実績	
実績	11件 歩行車、杖、四点杖、歩行器、シャワーチェア

事業名	緊急通報装置設置事業
根拠・通知	事業実施要綱（町単独） ※ふるさと応援寄付金活用事業
対象	①75歳以上の1人暮らしの方 ②おおむね65歳以上の1人暮らしの方で、健康状態、身体状況又は日常生活動作に支障がある方 ③65歳以上の高齢者夫婦のみの世帯で、次のいずれかに該当する方がいる世帯（ア 重度障がい者、イ 要介護3以上の認定者）
令和3年度 計画	
内容	緊急通報装置（端末機、ペンダント式発信機）の無償貸与。 （★利用者負担：発信に係る通話料） サーバーの耐用年数を考慮し、機種変更を含め今後検討を行う。
令和3年度 中間実績	
実績	■設置台数 97件 【内訳】①シルバーハウジング 20件 ②一般住宅 77件（新規設置1件） ■撤去件数 5件（転居1件、施設入所2件、死亡2件）

事業名	除雪サービス事業
根拠・通知	事業実施要綱（町単独） ※ふるさと応援寄付金活用事業
対象	疾病、身体障がい等により除雪作業が困難な65歳以上の高齢者のみの世帯、又は身体障害者手帳の交付を受けた者のみの世帯
令和3年度 計画	
内容	①公道から住宅まで（おおむね距離10m、幅1.2m程度）の除雪 （※人力、又は除雪機による除雪） ②公道除雪が終えた後の自宅間口に残る雪の除雪（※除雪作業車による除雪） 利用料金 1シーズン 4,000円（公道除雪期間：12月1日～3月31日）
令和3年度 中間実績	
実績 参考	令和3年10月1日より受付開始の為、未実施。 令和2年度の利用件数104件（新規12件／継続92件） ①公道から住宅までの除雪42件（高齢者事業団による除雪） ②自宅間口の除雪55件（南幌道路維持事業組合による除雪） ③農家地区7件（法人による除雪）

事業名	高齢者等住宅屋根雪下ろし助成事業
根拠・通知	事業実施要綱（町単独） ※ふるさと応援寄付金活用事業
対象	<p>町内に住所を有し、一戸建て住宅（借家を含む。）に居住する世帯全員の町民税が非課税で、次のいずれかに該当する世帯</p> <p>①65歳以上の高齢者のみの世帯</p> <p>②障がい者が属する世帯（身体障害者手帳1級及び2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級と判定された者）</p> <p>③ひとり親世帯（18歳以下の子とで構成する世帯）</p>
令和3年度 計画	
内容	<p>1回の雪下ろしに要した費用の3分の2の額に対し、3万円を上限とし、助成対象期間（1月～3月）に2回まで助成する。</p> <p>住民に周知し事業を行っていく。</p>
令和3年度 中間実績	
実績	広報12月号にて周知し受付開始の為、未実施。
参考	令和2年度利用者 1名

対象者	90歳 女性 独居 介護認定あり 要支援1 主な疾患 脳梗塞後遺症
個別会議での検討	① 家族・介護保険・福祉サービスでの役割の明確化 ② 高齢者の生活実態の明確化
対応・事後	介護保険で利用できるサービスや妹夫婦の支援のもと、見守り受け在宅生活を継続できているが拭えない不安があり随時対応している。



個別事例の検討より明らかになった地域課題

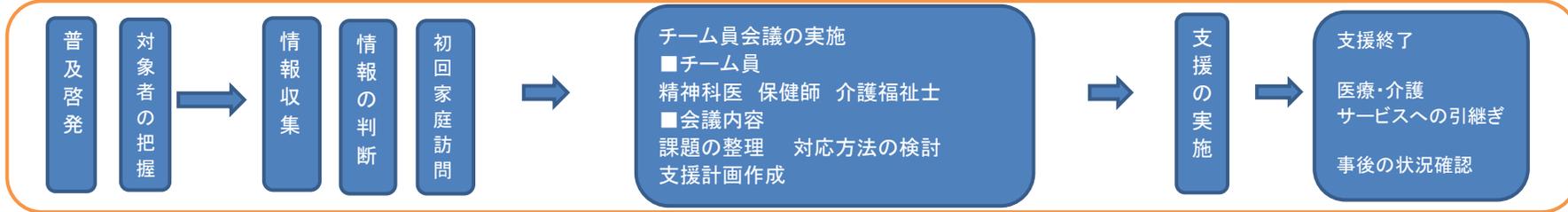
- ① 農家地区の独居高齢者でも、いかに孤立させないかのアプローチが必要である
- ② 日常生活動作を安全に安楽に一人で行っていける環境や福祉用具の提案が必要

自立を促進している要因

- ① 離れて暮らす家族の支援（買い物 受診等）
- ② 介護サービス提供者ほか支援者との信頼関係の構築
- ③ 南幌町への愛着

令和3年度認知症初期集中支援チーム 活動実績

対応件数 7件(前年度からの継続3件) チーム員会議開催数 5回



支援対象者の状況				認知症の診断		対象者の把握経路	支援開始時		本人の状況(上段) 主な支援(下段)	支援開始後	
年齢	世帯状況	介護度	認知症自立度※1	専門医の受診	病名※2		医療の有無	介護サービスの利用		医療の有無	介護サービスの利用
① 74歳	男 独居	要介護1	Ⅱb	中断	アルコール依存症	地区担当保健師	あり 内科	なし	金銭面への執着、同じ話の繰り返し、アルコール問題 精神科退院後、飲酒再開。介護サービス導入するも生活できず、近所に迷惑をかけ再入院となり、在宅復帰の見込みはない。	あり (内科・専門医)	入院までの期間あり
② 73歳	女 独居	申請 ↓ 要介護1	Ⅱb	なし		保健地区担当保健師より	あり 内科	なし	激しい物忘れ、服薬管理できない、高血圧 町外の家族と連絡をとり、助言・情報提供続けた。家族間でサービス利用への意見の違いあったが、介護認定申請し、サービス利用開始。認知症の進行が早い。	あり (内科)	なし
③ 92歳 92歳	男女 夫婦世帯	未申請 要介護1	Ⅱa Ⅲa	なし あり	③	担当の介護支援専門員より	あり 内科	妻のサービスあり	妻の認知症が進行、夫の負担が増えイライラしている 遠方の家族の協力、支援者の連携によりサービスの増加、配食サービス導入をし、負担軽減ができた。夫婦ともに認知機能低下徐々に進行、ケアマネと連携継続している。	あり (内科)	あり
④ 82歳 79歳	男女 夫婦と娘3人世帯	申請 ↓ 夫婦とも要介護1	Ⅱb Ⅲa	なし あり	認知症初期うつ	家族からの相談	あり 夫内科 妻精神科	なし	夫婦ともに認知機能低下。夫DV傾向あり。 夫婦とも介護認定をとり、介護サービス開始。娘にも精神疾患あり、家族全体に支援が必要だった。	あり 夫内科 妻精神科	あり あり
⑤ 80歳	男 夫婦世帯	未申請	I	なし		家族からの相談	あり 内科	なし	アルコール依存症傾向、易怒性、清潔面意欲低下 かかりつけ医と連携し、外来で長谷川式実施27点。病院・保健師が家族の相談を受けている。酒量減らし、本人が自分の役割を持つことで状況改善している。	あり 内科	なし
⑥ 85歳	女 独居	未申請	I	なし		生活援助員からの相談	あり 内科	なし	幻聴、近所とのトラブル 幻聴以外の症状なし。認知症の可能性低い。かかりつけ医と連携とり、本人・家族を説得し、精神科受診予定。		支援継続中
⑦ 88歳	男 夫婦世帯(妻入院で独居状態)	申請 ↓ 要支援1	Ⅱa	なし		本人から相談あり、把握	あり 内科	なし	理解力・判断力の低下 かかりつけ医で長谷川式は29点であるが、会話はかみ合わず一方的。生活はできているが、非日常の判断ができないため、必要時支援する。		支援継続中

※1 認知症高齢者の日常生活自立度 ランクは6段階に分かれます。(自立・Ⅰ・Ⅱab・Ⅲab・Ⅳ・M)

※2 病名 ①アルツハイマー病 ②レビー小体型認知症 ③混合型(アルツハイマー型+脳血管性型) ④前頭側頭型認知症